

釣船寺たより

発行所 釣船寺
〒300-0641
茨城県稲敷市
浮島3583-1
029-840-7778

九月に入り、朝夕の風が少しずつ涼しく感じられるようになってまいりました。今年の八月八日の施食会は、真夏とは思えないほどの涼しい日に恵まれました。また、盂蘭盆会は猛暑の中、大勢の檀信徒の皆さんがお墓参りに来られました。十五日には、盛大に送り火コンサートも行われ、浮島にまつわる歌も多数披露され、お盆を締めくくることができました。真夏の一大行事が終わり、次には秋彼岸が間近に控えております。暑さ寒さも彼岸まで、実りの秋、爽やかな秋晴れの日も、すぐそこまで来ています。皆様が元氣にお墓参りに来られるのをお待ちしております。

仏教での香と華

お仏壇 墓前には生花を！

私たちは毎日食物をいただき、命脈を保っています。肉や魚、野菜や果物、海藻等すべて生命を持つたものを食べますが、これを「生食」しようじきと申します。これに対し、仏様や諸精霊は、「香食」こうじきと称し、良い香りを食べるとういいます。お釈迦様もこのよい香りに囲まれて臨終されたといわれております。

仏様へ供えるものに六種類があり、そのなかに香や華（生花）が出てきます。華、香、水、焼香、飲食、灯明の六つです。飲食用、灯明の六つです。

仏教を代表する華は蓮華です。浮島の皆様に馴染み深い蓮の華には、仏教の教えに叶う六つの特徴があります。

- 一、泥中より出て汚れを受けない。
- 二、常に清浄なる姿である
- 三、葉上の雨水は白玉のごとし
- 四、美しい大輪の花は、仏法の光明の如し。
- 五、茎一本で枝も葉もない。唯一乗法の法華経の如し。
- 六、花と実が同時に結ぶは、因果

秋の彼岸に、ご先祖様に新米をお供えする方は、玄米を本堂にお持ちください。

不二にして、常在仏性の如し。このような蓮華の特徴が、仏法の尊さと似ているとして、香り豊かな、生のお花を、仏様にお供えします。

こうしたことから、お墓参りの際には、必ず生花を墓前にお供えください。最近、紙の花をお寺に捨てていく方が多いのですが、処分には困ります。紙の花をお供えする意味は全くないのです。生の花を、お供えできない方は、線香だけのお参りでもいいのです。

仏様は香をいただきます。生花のいい香りを、亡き人に、ご先祖様に楽しませてあげてください。

塔婆

塔婆は、梵語のストウーパの音訳であり、本来は仏舍利（遺骨）などを安置し供養するためと、遠くから見えるために高く造られた仏教独特の構造物のことをいいます。

現在は板塔婆に変化しましたが、塔婆を造立することは、一仏を造立することにもなり、供養となるのです。

今年も秋彼岸のお塔婆を受け付けます。別紙の申込用紙かお電話

でお申し込みください。

参加者募集

第一、第三日曜日
朝六時〜本堂にて開催
坐りやすいジャージなどで
ご参加ください



霞ヶ浦を歩こう
ノルディックウォーキング
に参加しませんか？

毎週、金、土、日
朝六時半和田公園出発

「浮島ドリームズ」
少年少女野球選手募集中！